



パリ高等音楽院で「即興」も専門に学んだ経歴が光る 山下洋輔ら、ジャズ界のスタープレイヤーとも共演 サクソフォンという楽器のイメージがきっと変わります

フランスでサクソフォンの演奏のみならず即興科も首席卒業した平野さん。その授業は徹底して『音楽の原動力とは何か』ということを考えるものだったという。『原動力』、たとえばそれを平野さんは「“ミソ”とか“ツボ”、あるいは“核”にあたるもの」と表現する。これを見抜く眼力がなければ、バッハでもジャズでも現代音楽でも、もちろんクラシックでも、音楽に生命を吹き込む演奏家としては失格だと徹底的に訓練されてきたのだ。「即興」と言う言葉が持つ自由自在なイメージは、ゆるぎない強烈な『原動力』があって初めて羽ばたくことができる。平野さんの演奏に漂う心地よい緊張感の理由はきっとそんなところにあるのだろう。

平野 公崇 Masataka Hirano サクソフォン

東京藝術大学在学中、第7回日本管打楽器コンクールで第1位入賞。卒業後、パリ国立高等音楽院に入學し、サクソフォン科、室内楽科、即興演奏科を最優秀の成績で卒業。在学中にJ.M.ロンデックス国際コンクールを制し、日本人サクソフォニストとして初の国際コンクール優勝者となり、翌年オーケストラ・ナショナル・ボルドー・アキテーヌの定期演奏会でC.アベルのコンチェルト“It”を世界初演。Sud-Ouest紙の絶賛を浴びる等、華やかなフランス・デビューを果たした。同年、パリでギャルド・レピュブリケーヌ管弦楽団とA.グラズノフのコンチェルトを共演している。

これまでにコンテンポラリー作品と即興で構成された異色のデビュー・アルバム『ミレニアム』、ジャズメンとのセッションを収録した『ジュラシック』、待望のクラシックアルバム『クラシカ』、最新アルバムは『C.P.E.バッハ：シンフォニア』などこれまで6枚のCDをリリース。オーケストラとの共演も多く、日本テレビ「深夜の音楽会」からの委嘱作品「7つの絵〜有元利夫に捧ぐ」では作曲家としても高い評価を受け国内外での再演が続いている。

正統派クラシックから、現代作品、即興、ジャズまで、幅広いフィールドを縦横無尽に駆け抜ける新しいタイプの実力派サクソフォニストとして活躍中。2015年秋には、パリ国立高等音楽院時代の同級生であった、クリスチャン・ヴィルトゥガリーダーをつとめる『ハバネラ・サクソフォン・カルテット』を9年ぶりに来日させ、自身がリーダーをつとめる『ブルーオーロラサクソフォン・カルテット』と鮮烈なデュオ公演を行い話題となった。

山中 惇史 Atsushi Yamanaka ピアノ

東京藝術大学音楽学部作曲科、同大学院作曲専攻修了。指揮科、弦楽科ティーチングアシスタントを務める。作曲を萩場富美子、安良岡章夫、鈴木純明各氏に師事。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲一般の部第3位。上野耕平、漆原朝子、漆原啓子、清水高師、ピエール・アモイヤル、松本蘭各氏と共演、委嘱を受けるなど、ピアニスト、作曲家として活動している。双方で参加した各CDはレコード芸術誌にて特選盤、準特選盤に選出されている。編曲の分野に於いても精力的に活動し、クラシックからポップスまで手掛けたアーティストは幅広い。「めざましクラシックス」「真田丸」などのアレンジも担当。「岡崎市立翔南中学校校歌」「JR岡崎駅イメージソング」など、出身地である岡崎市への楽曲提供も数多く行う。

現在も東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻に在学し研鑽を積み、ソロ・リサイタルも行っている。



©ノザワヒロミチ

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)